

水俣市で二つの集会

座込み激励、デモ 告発する会

明るくする 患者救済へ宣言採択

水俣病問題をめぐって大揺れの水俣市で十四日、患者の行政的救済を求めて署名運動を行った二つの市民団体が一本化、「水俣を明るくする市民連絡協議会」を結成した。これに反発する水俣病市民会も、告発する会などとも同日、集会、デモを行なったが、トラブルはなかった。

まず市民会側の呼びかけに応じ、東京、大阪、福岡、大分、鹿児島、熊本、各地方の水俣病を告発する会員が午後一時半、チッソ水俣支社正門前に集結した。

まず市民会側の呼びかけに応じ、東京、大阪、福岡、大分、鹿児島、熊本、各地方の水俣病を告発する会員が午後一時半、チッソ水俣支社正門前に集結した。

まず市民会側の呼びかけに応じ、東京、大阪、福岡、大分、鹿児島、熊本、各地方の水俣病を告発する会員が午後一時半、チッソ水俣支社正門前に集結した。

まず市民会側の呼びかけに応じ、東京、大阪、福岡、大分、鹿児島、熊本、各地方の水俣病を告発する会員が午後一時半、チッソ水俣支社正門前に集結した。

ようにこの強い怒りで無言のデモに移った。

一方、水俣市民会側が結成した「池松信夫代表」と市民党など各団体の長グループ（徳富昌文代表）は共同で水俣病問題の早期解決と市の繁栄に資することをねらって午後二時から市体育館で「水俣を明るくする市民連絡協議会」を結成した。一般市民約千人が参加した。

まず双方の代表から水俣病患者救済に立ち上がったことについて経過報告。さらに両グループが合同して市民連絡協議会を結成したことについて報告があった。引き続き会則、新役員を決めたあと、新役員を代表して徳富副議長あいさつした。ついで「水俣病の発生以

来十七年経過したが、根本的救済策がとられぬままに放置されたことが、市の発展の上に暗いイメージとなっている。明るく市を作るため患者ならびに家族の根本的救済、医療方面に働きかけていく」という大宣言書を満場一致で採択した。

また浮城市長、吾所市議会議長が来賓あいさつした。さらに水俣市を訪れている鹿田チッソ社長も会場を訪れ、「社長になって三ヶ月になるが、水俣病問題解決と第一に取り組まなければならないと思っている。水俣病で多くの人が

死んだり苦しんだりしておられ、市民の指標には大変のいわけかけたことをおぼしめます」と佐々木支社長、山根十場長といっしょに参加者の前で頭を下げた。

新役員は議長は近く役員会で決めるということで未定、副議長は池松信夫、徳富昌文の両氏。



すわり込みの激励大会（チッソ正門前で）



水俣を明るくする市民連絡協議会の結成大会（水俣市体育館）